

# 資料編



## 広島大学マスターズ会則

平成18年12月 2日制定

平成19年 5月26日一部改正

平成20年 5月31日一部改正

平成25年 5月18日一部改正

平成26年 6月 7日一部改正

### 1 名称

本会は、広島大学マスターズと称する。

### 2 目的

本会は、主として以前広島大学に在勤し（非常勤職員を含む。）、現在東広島市に在住している者（現常勤職員を除く。）が、広島大学の行う社会連携等各種事業を支援し、併せて大学のある都市としてふさわしいまちづくりに協力するとともに、会員相互の親睦・交流等を深めることを目的とする。

### 3 事業

本会は、次の事業を行う。

- (1) 広島大学が行う社会連携等各種事業に対する支援
- (2) 大学のある都市としてふさわしいまちづくりのための活動及び市民の生涯学習に対する支援
- (3) 会員相互の親睦、交流
- (4) その他本会の目的達成のため必要な事業

### 4 会員

本会は、次の会員をもって構成する。

- (1) 正会員 東広島市在住の広島大学退職者（非常勤職員を含む。）又はそれに準じる者
- (2) 協力会員 本会の趣旨に賛同し、その活動、運営を積極的に支援する者

### 5 運営

本会は、次の体制でもって運営する。

- (1) 本会は、正会員のうちから代表幹事及び幹事(若干名)及び監査(2名)を選任し、運営にあたる。必要に応じて会長、顧問、参与を置くことができる。任期は2年とし、再任を妨げない。
- (2) 年1回総会を開催する。
- (3) 本会の目的を達成するため必要な各種事業を随時行い、関係会員にその情報を伝える。

### 6 入会金

正会員は、入会金（1万円）を納入するものとする。

### 7 拠出金

正会員は、3の事業に要する経費に充当するため、本会が斡旋又は仲介する事業によって得た収入の一部を、別途定める細則に基づき、本会に拠出するものとする。

## 8 事務局

事務局は、広島大学西条サテライトオフィス（コラボスクエア）に置く。

（739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島3F）

但し、郵便物の送付先は、東広島市市民協働センター 広大マスターズメールボックス とする。

（〒739-8601 東広島市西条栄町8-29）

e-mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

## 9 補則

(1) 本会則は、平成18年12月2日より施行し、この日を本会の設立日とする。

(2) 平成26年6月7日改正の「6 入会金」については、本会創設時に遡って適用するものとする。

## 広島大学マスターズ拠出金に関する細則

平成20年 5月31日制定

平成23年 6月 4日一部改正

### 1 目的

本細則は、広島大学マスターズ会則7に定める拠出金の額及びその拠出方法について定めるものとする。

### 2 拠出金の額

本会に拠出する額は、会員が事業によって得た収入額から税金その他の必要経費を控除した額の10%とする。

### 3 拠出の方法

(1) 会員は、毎年12月末日までの一年間に得た収入額から拠出額を計算し、翌年1月末日までに経理担当幹事に通知するものとする。

(2) 経理担当幹事は、前項の通知に基づき、郵便振替用紙を交付するものとする。

(3) 会員は、前項の用紙により、2月末日までに当該額を納付するものとする。

### 4 附則

本細則は、平成20年4月1日から適用するものとする。

### 5 附則

この改正細則は、平成23年4月1日から適用するものとする。

## 趣 意 書

私たちはかつて広島大学に在職して、科学の国際的最先端を競う研究者でありました。次世代の研究者や社会人を育成する教育者でありました。大学の教育研究活動を支援し、大学運営のハード面を担う事務方でありました。常勤と非常勤の勤務形態は問題になりません。広島大学への懐かしい追憶、それが私たちの共有財産です。

だが東広島市に住む私たちには、広島大学は過去ではありません。現在です。同じ市内にあるというだけではありません。広島大学は教育、研究に地域貢献を三本柱にあげています。東広島市は学園都市の旗をずっと掲げています。東広島市に住むことは、広島大学を思うことでもあります。品格のある「大学町」を作りたい、生き生きとした子どもたちの歓声の聞こえる町づくりに手を貸したい、私たちはそう願っています。

私たちは研究業績の競争に煩わされることはなくなりました。研究のための資金調達の苦勞からも解放されました。広島大学という巨大組織を動かす苦勞からも自由であります。私たちは、今、誰に遠慮することもなく、自分の意見を語り、仲間と語り合い、自分の信念で行動することができるようになりました。時間に束縛されず、自分の趣味に生き、長い旅行もできるようになりました。

私たちはまだ老いから遠く、第二の現役生活を送っています。隠居を決め込む年齢ではありません。その仲間が、懐かしさをバネに、出会って、語らって、盃をときに傾けながら活動する会を作ってみたいと思い立ちました。鏡山のふもとでお花見としゃれてもよいではないか、秋たけなわ、酒まつりに友を誘い合わせて、酔いの世界を戯れてもよいではないか。あるいは今年広島大学に天文台がオープンしました。昔の友に声をかけて、いっしょに見学の会をつくってもよいではないか。そのような親睦と交流の会「広島大学マスターズ」を立ち上げることにいたしました。その意味は、退役し、飛距離こそいくぶん落ちているとはいえ、気力と技量にかけてはまだまだ若い者に遅れをとらない練達の士というほどの意味です。同じ志の昔の仲間たちの参加をよびかけます。

私たちは研究と一体の教育の現場を長く生きてまいりました。物を知ること、触れることが、どれほどの感動を引き起こし、その人の生涯をきめるまでに至るのか。教えるとは知識の伝授だけではない、研究対象にはじめて出会ったときの驚き、興奮をまず伝えることではないでしょうか。今長い研究生生活を振り返りながら、若い、小さな頭脳に、私たちの経験を伝えてみたい、かれらの好奇心と想像力を引き出してみたいと思っています。

新聞やテレビでは家族や学校の崩壊を露呈する事件が毎日のように報道されています。マネーゲームや投機的事業でまじめに働くことがコケにされる風潮が広まっています。勉強と言えば、受験勉強しか思い浮かばない風潮があります。世の中では子どもたちの理科離れを憂える議論に事欠きません。文科系では、古典をじっくり読むことがなくなったという声をよく聞きますが、根っこは同じだと思います。「賢い」とか「知恵」といった本来尊いコトバが、ズルとかワルとかアサという接頭辞をつけてでないで通用しない世の中は変えてゆかねばなりません。

私たちができることは教育だけではありません。自分たちの居住区の人々といっしょに地域をまも

り、行事を盛り上げ、地域おこしのためにいっしょに考えて行動すること、それは住民としての大切な日課です。私たちは個々には、既にそれぞれの居住区で、そのような活動をしています。それらの情報提供、情報交換、心配相談が、地区の枠を越えて気兼ねなくできるネットワークがあってよい。畑作りの工夫などの知恵の出し合いがあってもよい。面白いイベントへの勧誘があってもよい。最近観た映画、読んだ小説の感想があってもよい。そのような位置から東広島市や広島大学の将来への提言もできると考えます。

折りしも、2007年問題、団塊の世代の退職問題が大きな話題になっています。戦後の日本の産業、経済、行政、教育を担ってきた世代が、まだまだ現役のエネルギーをためながら、居住の地域に帰ってきます。私たちの活動が、かれらに先鞭をつけるならば、おそらく日本のこれからのモデルケースになるであります。

なお、この会の設立は、現在広島大学校友会を設立準備している広島大学および広島大学校友会幹事会からも積極的な支援をいただいています。

最後にもう一度、私どもの発意を十分にご斟酌いただき、「広島大学マスターズ（略称広大マスターズ）」にぜひご参加ください。

2006年9月23日

#### 広島大学マスターズ発起人（アイウエオ順）

有本 章（高等教育研究開発センター）	安藤 忠男（生物圏科学研究科）
井上 宣邦（産学連携センター）	江口 正晃（総合科学部）
沖村 雄二（理学部）	金田 晋（総合科学部）
栗栖 良充（事務部）	黒川 正流（総合科学部）
佐野 進策（経済学部）	塩谷 優（工学研究科）
菅川 健二（法学部）	難波 平人（教育学研究科）
西川 恭治（理学部）	西村 清巳（教育学研究科）
原田 宏司（教育学研究科）	原野 昇（文学研究科）
藤井 博信（自然科学研究支援開発センター）	松村 昌信（工学研究科）
三浦 省五（教育学研究科）	水上 千之（社会科学研究科）
宗岡洋二郎（総合科学部）	山本 義雄（生物圏科学研究科）
吉田二美恵（附属図書館）	

## 歴代役員一覧

期 間	顧 問	参 与	代表幹事	副代表幹事	幹 事	監 査	
平成 18 年 12 月～ 平成 20 年 4 月	藏田義雄 牟田泰三 浅原利正		金田 晋	安藤忠男	黒川正流 菅川健二 山本義雄	栗栖良光 松水征夫	
平成 20 年 5 月～ 平成 22 年 4 月	藏田義雄 浅原利正		金田 晋	安藤忠男	井上宣邦 黒川正流 中川平介 原野 昇 山本義雄	太田安英 菅川健二 原田宏司 山本義雄	沖村雄二 栗栖良光
平成 22 年 5 月～ 平成 24 年 4 月	藏田義雄 浅原利正		金田 晋	安藤忠男	井上宣邦 黒川正流 中川平介 原野 昇 山本義雄	太田安英 菅川健二 難波平人 平田敏文 渡部和彦	沖村雄二 栗栖良光
平成 24 年 5 月～ 平成 26 年 4 月	藏田義雄 浅原利正		渡部和彦	原野 昇	安藤忠男 太田安英 黒川正流 中川平介 平田敏文 山本義雄	井上宣邦 金田 晋 菅川健二 難波平人 松田治男	沖村雄二 栗栖良光
平成 26 年 5 月～ 平成 28 年 4 月	藏田義雄 浅原利正 越智光夫	植木研介 井上研二	渡部和彦	原野 昇	安藤忠男 太田安英 黒川正流 谷本能文 難波平人 松田治男 山本義雄	井上宣邦 金田 晋 菅川健二 中川平介 平田敏文 三浦省五	沖村雄二 河野憲治 小尾孟夫
平成 28 年 5 月～ 平成 30 年 4 月	藏田義雄 越智光夫	井上研二 津森 毅	渡部和彦	平田敏文 三浦省五 山本義雄	安藤忠男 岩田賢司 金田 晋 菅川健二 中川平介 原野 昇 松田治男	井上宣邦 太田安英 黒川正流 谷本能文 難波平人 藤井博信	河野憲治 小尾孟夫

## 年 表

2006. 12. 02 広島大学マスターズ設立（代表幹事 金田 晋）  
広島大学マスターズの「ロゴ」を制定
2006. 12 「広島大学マスターズ通信」創刊号の発行
2007. 01 広島大学マスターズ「例会」を開始
2007. 04 東広島市生涯大学システム運営協議会に加盟
2007. 04 広島大学マスターズ専用のホームページを開設
2007. 06 「出前講座」、「出前授業」に講師派遣を開始
2007. 10 「東広島市民講座」に講師派遣を開始
2008. 03 「広島大学マスターズ活用ガイド」（広島大学マスターズ・東広島市教育委員会編集）を発行
2008. 03 「広島大学校友会」に登録団体として加入
2008. 04 「T S S 文化大学」一般教養講座に講師派遣を開始
2008. 07 ホームページ「瓦版」（市民向け）を開設
2011. 02 広島大学「留学生のための短期研修講座」に講師派遣を開始
2011. 04 広島大学教養教育「平和科目」に参画し、2科目（4単位）を提供
2011. 08 ホームページ「会員版」を開設
2011. 09 「広島大学マスターズ・ウォーキング大会」（例会兼ねる）を開始
2011. 10 広島大学「日韓共同理工系学部留学生」の予備教育に講師派遣を開始
2011. 11 広島大学マスターズが、広島大学長表彰を受賞
2012. 06 第7回総会において、新代表幹事として渡部和彦を選出
2013. 03 広島大学マスターズの「旗」「ペナント」を作成
2013. 04 広島大学マスターズの「パンフレット」を作成
2013. 04 「ちゅーピーカルチャーセンター（東広島）」の講座に講師派遣を開始
2014. 06 「広島大学マスターズ講演会」を開始
2014. 06 広大マスターズ友の会の発足
2014. 08 「広島大学マスターズ規約」を一部改正（出資金を入会金に変更）
2015. 07 広島大学マスターズ企画「海外研修旅行」を開始
2016. 11 「広島大学マスターズ創立10周年記念シンポジウム」を開催
2016. 11 「広島大学マスターズ創立10周年記念祝賀会」を開催



# 各種行事・事業リスト

## 市民講座

### 平成19年度

(1) 熟年世代の健康と食べ物

第1回「熟年世代の健康」(角谷哲司)、第2回「機能性食品の科学」(太田安英)、第3回「熟年世代の健康と運動」(西村清巳)、第4回「過去の食中毒事件から学ぶこと」(川上英之)

(2) 広島魚文化

第1回「広島のアユ」(海野徹也(広島大学生物圏科学研究科))、第2回「魚と貝の神経」(宗岡洋二郎)、第3回「ナマズの話」(宗岡洋二郎)、第4回「広島釣と魚の話」(海野徹也(広島大学生物圏科学研究科))

### 平成20年度

(1) 初めてのフランス語 (1回～4回) (原野 昇)

(2) 先端技術と工学

第1回「最先端のプラスチック」(高田忠彦)、第2回「先端技術と機械製品」(橋本律男)、第3回「最先端の繊維科学」(松井亨景)、第4回「情報機器のメカトロニクスー工学の極限を追求する電子機械ー」(三枝省三)

(3) 家族で挑戦!野っ原探検講座

第1回「ホテルの川の探検とナマズ捕り」(宗岡洋二郎)、第2回「みどりの牧場で土の世界探検」(安藤忠男)、第3回「里山で遊ぼう」(西村清巳)、第4回「東広島の大い探検」(沖村雄二)

(4) フランス語会話と文法 (第1回～4回) (原野 昇)

(5) バロックの美術と音楽

第1回「バロックの音響理念を求めて」(原田宏司)、第2回「バロックの意味、ルネサンス美術とのちがい」(金田 晋)、第3回「バロックの大家にみる合理主義的精神」(原田宏司)、第4回「花の絵画」(金田 晋)

### 平成21年度

(1) 環境問題と私たちの生活

第1回「地球温暖化と私たちの暮らし」(安藤忠男)、第2回「食品残渣からのバイオマスエネルギー」(鈴木寛一)、「水素エネルギーの利用」(藤井博信)、第3回「醸造残渣からのエネルギー利用」(家藤治幸(酒類総合研究所))、第4回「生物多様性と環境」(山本義雄)

(2) 初めてのイタリア語 (第1回～4回) (古浦敏生)

(3) 世界の美術紀行 (第1回～4回) (難波平人)

第1回「イタリア、トルコ」、第2回「フランス、マリ」、第3回「スペイン、ペルー」、第4回「イギリス、インド」

(4) 家族で挑戦!野っ原探検講座

第1回「緑の牧場で土の世界探検」(安藤忠男)、第2回「東広島の大い探検」(沖村雄二)、第3回「里山で遊ぼう」(西村清巳)、第4回「ホテルの川のナマズ捕り」(宗岡洋二郎)

### 平成22年度

(1) 現代社会と人間関係

第1回「社会と個人、集団と個人」(黒川正流)、第2回「カウンセリング」(岩村 聡)、第3回「支えあうことの光と影」(浦 光博(広島大学総合科学研究科教授))、第4回「ハラスメントのかたち」(坂田桐子(広島大学総合科学研究科教授))

(2) 「はじめてのドイツ語」(第1回～4回) (岡崎忠弘)

(3) 「旅のドイツ語」(第1回～4回) (岡崎忠弘)

(4) 暮らしの中の無線 (第1回～4回) (井上宣邦)

第1回「情報を伝える歴史『アナログからデジタルの世界』」、第2回「マルチメディアの時代『放送』」、第3回「マルチメディアの時代『通信』」、第4回「マルチメディアの時代『パッケージ』」

(5) 野っ原探検講座

第1回「ホタルの川の探検とナマズ捕り」(宗岡洋二郎)、第2回「みどりの牧場で土の世界探検」(安藤忠男)、第3回「里山で遊ぼう」(西村清巳)、第4回「東広島の大地探検」(沖村雄二)

平成23年度

(1) 「はじめてのフランス語」(第1回～4回)(原野 昇)

(2) 「身のまわりの化学」

第1回「くらしの中の香り」(平田敏文)、第2回「洗剤の話」(三吉克彦)、第3回「生理活性天然物の話」(深宮齊彦)、第4回「ひとと磁石」(谷本能文)

(3) 「ヨーロッパの昔と今-酒からみる-

第1回「フランス中世文学にみる酒」(原野 昇)、第2回「酒の効用は変化するのか、なぜ?」(山代宏道)、第3回「酒と真理はどちらが強い」(水田英実)、第4回「ドイツ中世文学にみる酒」(岡崎忠弘)

(4) 「旅のフランス語」(第1回～4回)(原野 昇)

平成24年度

(1) 「健やかで美しく歳を重ねたい」

第1回「健やかな生活と習慣」(角谷哲司)、第2回「免疫と健康の科学」(松田治男)、第3回「健やかな生活と生化学」(平田敏文)、第4回「姿勢と健康づくりウオーキング」(渡部和彦)

(2) 「モノからみるイギリス史」

第1回「遺跡からみる古代イギリス」(山代宏道)、第2回「建築からみる中世イギリス」(山代宏道)、第3回「紅茶からみる近世イギリス」(友田卓爾)、第4回「鉄・石炭からみる近代イギリス」(友田卓爾)

(3) 「風景画を楽しく学ぶ」

第1回「風景画の歴史」(金田 晋)、第2回「セザンヌの風景画」(金田 晋)、第3回「現代の画家が描く風景画」(難波平人)、第4回「難波が描く風景画」(難波平人)

(4) 「初歩から学ぶラテン語-シルクロードをひとつとび-」(第1回～4回)(水田英実)

平成25年度

(1) 「市民討論講座：東広島市民のエネルギー問題」

討論進行：安藤忠男、ゲスト討論者：桜井正治(中国電力)、佐々木桂一(生協ひろしま)

第1回「どうする？原子力発電」、第2回「新エネルギーの上手な使い方は？」

(2) 「中世ヨーロッパにおける男と女」

第1回「男と女の理想と現実-中世ヨーロッパの記録から-」(山代宏道)、第2回「トリスタンとイゾー-フランス中世文学にみる男と女-」(原野 昇)、第3回「ドイツ中世-叙事詩の中の男と女-」(岡崎忠弘)、第4回「最初の男と女-エデンの園の物語-」(水田英実)

(3) 「意識と無意識と行動」

第1回「意識と無意識の実験心理学」(入野野 宏)、第2回「動物の行動からここを探る」(坂田省吾)、第3回「音楽で脳と心をリフレッシュしよう」(岩永 誠)、第4回「居眠り事故はなぜ起こる」(林 光緒)

(4) 「東広島を楽しくスケッチしよう」(第1回～4回)(難波平人)

第1回～2回「酒蔵通り周辺をスケッチ」、第3回～4回「広島大学構内をスケッチ」

(5) 「英語が上手になるには」(第1回～4回)(三浦省五)

第1回「英会話入門」、第2回「英語で広島観光案内」、第3回「外国で病気になった時あなたを救う英語」、第4回「さらに英語らしい表現を求めて」

平成26年度

(1) 「農業の多面的機能を考えてみよう」

第1回「農業と人々の生活、東広島市の農業」(山本禎紀、栗栖真一〔東広島市農林水産課〕)、第2回「市の農産物の生産と消費から」(河野憲治、他)、第3回「農業の現場の話題から、後継者、施策、技術など」(河野憲治、船越建明〔広島県農林整備・農業振興財団〕)、第4回「農業の多面的機能は活かされているか」(山本禎紀、河野憲治、杉西寿昭〔東

広島市園芸センター]、他)

(2) 「はじめてのドイツ語」(第1回～4回)(岡崎忠弘)

(3) 「はじめてのイタリア語」(第1回～4回)(古浦敏生)

(4) 「身近に日本刀を楽しもうー日本の伝統美に触れるー」(世話係:清水迫章造)

第1回「日本刀の世界」箕浦伸恭(日本美術刀剣保存協会広島県支部長)、第2回「日本刀が出来るまで」三上孝徳(日本美術刀剣保存協会広島県支部理事、全日本刀匠会会長)、第3回「刀剣の美学」(金田 晋)、第4回「日本刀鑑賞のポイントと広島県の郷土刀」西本直彦(日本美術刀剣保存協会広島県支部副支部長)、石岡清秀(日本美術刀剣保存協会広島県支部副支部長)

(5) 「不思議な自然界」

第1回「熱を制するものはエネルギーを制する」(菊地義弘)、第2回「未来を見据えた、水素の贈り物」(藤井博信)、第3回「プラズマがつくる新表面」(中佐啓治郎)、第4回「分子の世界」(塩谷 優)

## 平成27年度

(1) 「はじめてのフランス語」(第1回～4回)(原野 昇)

(2) 「いろいろな視点からのジャズ」(第1回～4回)(小方 厚)

第1回「動画によるジャズ入門」、第2回「西洋音楽としてのジャズ」、第3回「民族音楽としてのジャズ」、第4回「計算機とジャズ」

(3) 「くらしの中の化学」

第1回「くらしの中の香り」(平田敏文)、第2回「自然界にある様々な有機化合物」(深宮齊彦)、第3回「水と空気の化学」(塩谷 優)、第4回「光と物質」(谷本能文)

(4) 「気楽に楽しむ英会話」(第1回～4回)(三浦省五)

第1回「英語発音の基礎」、第2回「広島観光案内(1)」、第3回「広島観光案内(2)」、第4回「東広島観光案内」

(5) 「世界の動きと平和を考える」(第1回～4回)(岩田賢司)

第1回「中国・ロシアなどの地域大国主義と平和」、第2回「ヨーロッパの冷戦と平和」、第3回「朝鮮戦争・ベトナム戦争などのアジア熱戦と平和」、第4回「ソ連・ロシアの動きと平和」

## 平成28年度

(1) 「現代社会の人間関係の諸相」

第1回「地位と勢力:権力は人をどのように変えるのか」(坂田桐子(広島大学大学院総合科学研究科教授))、第2回「子育てにおける養育者と周囲との対人関係:「つながり」から考える子育て」(西村太志(広島国際大学心理学部心理学科講師))、第3回「なぜ親密な人間関係で暴力がエスカレートするのか:DVが生じる心理的プロセス」(相馬敏彦(広島大学大学院社会科学研究所マネジメント専攻准教授))、第4回「お金や地位を得ることで失うもの:社会経済的地位と対人関係」(中島健一郎(広島大学大学院教育学研究科講師))

(2) 「小学生のための理科実験教室」

第1回「スイカ電池を作ろう」(谷本能文)、第2回「スライムを作ろう」(樋高義昭(愛媛大学名誉教授))、第3回「調べてみよう!いろいろな水溶液?」(樋高義昭(愛媛大学名誉教授))、第4回「携帯カイロを調べてみよう」(谷本能文)

(3) 「2016年宇宙の旅」

第1回「東広島から見える宇宙」(大杉 節)、第2回「宇宙の始まりと終わり」(牟田泰三)、第3回「古代人たちが見た宇宙」(金田 晋)、第4回「人類が宇宙へ旅立つ日」(安藤忠男)

(4) 「くらしをサイエンスする」

第1回「“もの”のサイエンス」(塩谷 優)、第2回「光のサイエンス」(谷本能文)、第3回「燃料電池のサイエンスーエネルギーをひも解くー」(藤井博信)、第4回「重力のサイエンス」(藤原好恒(広島大学理学研究科准教授))

(5) 「ドイツの名歌・名詩・名句を楽しむ」(第1回～4回)(講師:岡崎忠弘)

第1回「カール・ブッセの「山のかなた」の原詩と上田敏の名訳を読み合わせる。」、第2回「ヘルマン・ヘッセの「霧の中」や「野を越えて」などの名詩を原詩と高橋健二訳で鑑賞する。」、第3回「夕べの安らぎを歌う、素朴なドイツ民謡を鑑賞する。」、第4回「リリー・マルレーンの歌の原詩と邦訳について。」

## 出前講座・出前講義

### 平成19年度

- (1) 「大地を探る」・「大地の変化」(沖村雄二) 東志和小学校5年生および6年生
- (2) 「土の生い立ちと働き」(安藤忠男) 東志和小学校5年生および6年生

### 平成20年度

- (1) 「どんぐり教室」(西村清巳) 高美が丘地区の小学生と父兄 (於：高美が丘公民館)

### 平成21年度

- (1) 「東広島市の地球温暖化対策-2050年カーボン・ニュートラルを目指す-」「30年後の地球環境と私たち-地球温暖化と私たちの暮らし-」など(安藤忠男) 東広島各地域(13会場)
- (2) 「黒瀬川と仲良くなろう」(宗岡洋二郎) 寺西小学校4年生

### 平成22年度

- (1) 「食中毒」(川上英之) 本永病院関係者
- (2) 「地球温暖化と私たちの暮らし」(安藤忠男) 三ツ城小学校4年生

### 平成23年度

- (1) 「黒瀬川と仲良くなろう」(宗岡洋二郎) 寺西小学校4年生
- (2) 「香りの科学」(平田敏文) 河内地区「万年青大学」

### 平成24年度

- (1) 「東広島市の大地」(沖村雄二) 八本松中学校
- (2) 「ふる里探検!黒瀬川」(宗岡洋二郎) 寺西小学校4年生
- (3) 「実践ウォーキング入門」(渡部和彦) 東志和地域センター 健康・スポーツセミナー
- (4) 「竹トンボ教室」(西村清巳) 寺西小学校4年生

### 平成25年度

- (1) 「世界の美術紀行(アルジェリア、キューバ)」(難波平人) 河内地区「万年青大学」
- (2) 「東広島の大い」(沖村雄二) 八本松中学校
- (3) 「磁石のふしぎ」(谷本能文) 高屋西いきいきこどもクラブ小学生
- (4) 「わたなべ博士の健康・スポーツセミナー」(渡部和彦) あきつ世代間交流センター

### 平成26年度

- (1) 「東広島の大い-八本松地域の地形と地質」(沖村雄二) 八本松中学校
- (2) 「おもしろ科学実験-作ってみよう! レモン電池」(谷本能文) 東広島市中央生涯学習センター
- (1) 「香りの科学」(平田敏文) 南海診療所職員研修会
- (2) 「東広島の大い」(沖村雄二) 広大マスターズ友の会

### 平成27年度

- (1) 「東広島の大い」(沖村雄二) 八本松中学校
- (2) 「楽しくまなぼう! 科学実験室」(谷本能文) 東広島市中央生涯学習センター

### 平成28年度

- (1) 「食と健康-日本食のすすめ」(第1回~10回)(室岡義勝) 高屋西還暦サロン  
第1回「乳酸菌と健康」、第2回「食酢と健康」、第3回「酒と健康」、第4回「醤油と健康」、第5回「遺伝子組み換え食品」、  
第6回「味噌と健康」、第7回「麴と健康」、第8回「納豆と健康そしてサプリメントの選び方」、第9回「山菜・漬物・

- わさび・海藻は健康食品」、第10回「肥満と健康」
- (2) 「東広島の大地」(沖村雄二) 八本松中学校
- (3) 「元気でいるための食べ物」(室岡義勝) 広島中央障害者就業・生活センター
- (4) 「食と健康－サプリメントの選び方」(室岡義勝) 福富町東谷老人集会所

## テレビ新広島文化大学

### 農業・環境シリーズ 1 (平成20年度)

- 第1話 「広島県沿岸部水没す? -地球温暖化と私たちの暮らし-」(安藤忠男)
- 第2話 「広島県の大地と風土」(沖村雄二)
- 第3話 「里山の体験教育」(西村清巳)
- 第4話 「アユカケの不思議 -子供の成長と自然環境-」(宗岡洋二郎)
- 第5話 「魚の肥満 -養殖魚はまずいか-」(中川平介)
- 第6話 「日本肉食史」(山本義雄)
- 第7話 「ヒトと家畜の胃と腸」(岡本敏一)
- 第8話 「調理を科学する」(鈴木寛一)
- 第9話 「中高年者と食中毒」(川上英之)
- 第10話 「酵素:食品での役割?食品機能と組み合わせて」(太田安英)
- 第11話 「平和都市・広島から農業や環境問題を考える」(山本禎紀)

### 農業・環境シリーズ 2 (平成21年度)

- 第1話 「地質学を楽しむ」(沖村雄二)
- 第2話 「生物多様性と動物遺伝資源」(山本義雄)
- 第3話 「里山の散策で感性を磨く」(西村清巳)
- 第4話 「技術の発達に伴う病について-生物学の立場から-」(宗岡洋二郎)
- 第5話 「ヒトと家畜の骨」(岡本敏一)
- 第6話 「広島湾のクロダイ研究」(中川平介)
- 第7話 「畜産科学からみえたわが国の食料、環境、家畜福祉などの話題と課題」(山本禎紀)
- 第8話 「廃棄バイオマスのエネルギー化と地球温暖化対策」(鈴木寛一)
- 第9話 「わが国で起きた重大食中毒事件」(川上英之)
- 第10話 「食品:味と香りと色」(太田安英)
- 第11話 「土の世界」(安藤忠男)

### 学問の散歩道シリーズ 1 (平成22年度)

- 第1話 「比治山に眠るフランス兵士」(原野 昇)
- 第2話 「素敵なおい方-熟年心理学-」(西山 啓)
- 第3話 「地域主権改革」(菅川健二)
- 第4話 「広島を魚を知ろう、食べよう、釣ろう」(海野徹也 (生物圏科学研究科准教授))
- 第5話 「『愛』を告げる方言の世界」(江端義夫)
- 第6話 「熟年世代の健康づくり実践法-ウォーキングと姿勢の科学-」(渡部和彦)
- 第7話 「歎異抄の世界と現代」(松田正典)
- 第8話 「長寿は遺伝するか?-長寿の遺伝学-」(角谷哲司)
- 第9話 「イギリス-紅茶の歴史-」(友田卓爾)
- 第10話 「磁場の不思議」(谷本能文)
- 第11話 「機能する繊維」(松井亨景)
- 第12話 「水素の贈り物」(藤井博信)

### 学問の散歩道シリーズ 2 (平成23年度)

- 第1話 「万葉の植物たち」(西村清巳)
- 第2話 「やさしい経済学：人間と経済」(佐野進策)
- 第3話 「くらしの中の無線」(井上宣邦)
- 第4話 「エネルギーと環境」(菊池義弘)
- 第5話 「法然と親鸞」(松田正典)
- 第6話 「百人一首の愉しみ方」(西川恭治)
- 第7話 「三国志：南京見聞記」(小尾孟夫)
- 第8話 「生命を活性化する物質」(平田敏文)
- 第9話 「中高齢期の健康運動実践法：ウォーキングと転倒防止」(渡部和彦)
- 第10話 「分子の世界－小分子から機能性分子へ－」(塩谷 優)
- 第11話 「ドレミの科学」(小方 厚)

### 学問の散歩道シリーズ 3 (平成24年度)

- 第1話 「世界美術紀行」(難波平人)
- 第2話 「いのちの環－生態系のなり立ち－」(池上 晋)
- 第3話 「世界さ裂発見の旅」(中佐啓治郎)
- 第4話 「ゲルマン民族の英雄伝説」(岡崎忠弘)
- 第5話 「歎異抄の世界と現代(3)」(松田正典)
- 第6話 「原子力への科学者の旅」(西川恭治)
- 第7話 「低温の魅力」(永井克彦)
- 第8話 「接着の科学」(高田忠彦)
- 第9話 「楽しく続けたい身体づくり：ウォーキング+ $\alpha$ の実践」(渡部和彦)
- 第10話 「英語の学び方」(三浦省五)
- 第11話 「カウンセリングを学んで使おう－聞き上手をめざして－」(岩村 聡)

### 学問の散歩道シリーズ 4 (平成25年度)

- 第1話 「旧暦の美学－生活とカレンダー－」(金田 晋)
- 第2話 「イタリア語万華鏡」(古浦敏生)
- 第3話 「地球は丸い－中世ヨーロッパの知識人は知っていた－」(水田英実)
- 第4話 「免疫とストレス－楽しいことをする意味－」(松田治男)
- 第5話 「歴史から見る移民の変容と共生－ノルマン移民と日系移民－」(山代宏道)
- 第6話 「影響力－リーダーシップの基礎－」(黒川正流)
- 第7話 「第3の波の時代に挑戦する大学」(有本 章)
- 第8話 「姿勢と歩行(ウォーキング)の健康運動実践法」(渡部和彦)
- 第9話 「世界の美術紀行－イスラエル－」(難波平人)
- 第10話 「自然の中にある様々な有機化合物」(深宮齊彦)

### 学問の散歩道シリーズ 5 (平成26年度)

- 第1話 「シルクロードにさんご礁を探して」(沖村雄二)
- 第2話 「最近の水産物のはなし」(中川平介)
- 第3話 「瀬戸内海から外洋への旅－広島大学練習船の活動－」(郷 秋雄)
- 第4話 「インフルエンザの話－病原体の正体を知って冬を乗り切ろう－」(松田治男)
- 第5話 「遺伝資源と開発途上国」(山本義雄)
- 第6話 「国際政治の歴史と現在」(岩田賢司)
- 第7話 「植物の成長戦略－植物から学んだ暮らし方－」(安藤忠男)
- 第8話 「幸運な引揚者」(岡本敏一)
- 第9話 「土を知る－生命を育む土－」(河野憲治)

## 学問の散歩道シリーズ 6 (平成27年度)

- 第1話 「多言語国家フランス」(原野 昇)
- 第2話 「不思議な熱現象」(菊地義弘)
- 第3話 「イギリスの森の歴史」(友田卓爾)
- 第4話 「ハイテク繊維とその応用」(松井亨景)
- 第5話 「エネルギーの歴史と水素の贈り物」(藤井博信)
- 第6話 「磁石に魅せられて-磁場の不思議な作用-」(谷本能文)
- 第7話 「視て聴くドレミ」(小方 厚)
- 第8話 「身近な分子の化学」(塩谷 優)
- 第9話 「地方創生と広島」(菅川健二)

## 学問の散歩道シリーズ 7 (平成28年度)

- 第1話 「ベルリンの建築と芸術」(杉本俊多)
- 第2話 「書は心画なり」(牟田泰三)
- 第3話 「香りへの招待-暮らしのなかの香り-」(平田敏文)
- 第4話 「古稀のキャンプ」(西村清巳)
- 第5話 「広島英語ガイド」(三浦省五)
- 第6話 「真理は酒より強いのか」(水田英実)

## ちゅーピーカルチャーセンター講座

- レギュラー講座：3ヶ月ごとに継続して行っていく講座
- ちゅーピーカルチャーセンター東広島大学：月1回講座を行い、各講師持ち回りで行う1年間を通じた講座

### レギュラー講座

#### (平成25年講座)

- (1)「フランス語 (入門・初級)」(原野 昇)
- (2)「水彩・油絵」(難波平人)
- (3)「近代美術の世界～印象派・ゴッホ・セザンヌ等～」(金田 晋)

#### (平成26年講座)

- (1)「楽しいフランス語 (入門・初級)」(原野 昇)
- (2)「水彩・油絵」(難波平人)
- (3)「世界の近代美術をたのしく学ぶ」(金田 晋)

#### (平成27年講座)

- (1)「水彩・油絵」(難波平人)
- (2)「世界の近代美術をたのしく学ぶ」(金田 晋)
- (3)「地球の不思議-東広島の大地に親しむ」(沖村雄二)

#### (平成28年講座)

- (1)「水彩・油絵」(難波平人)
- (2)「近代美術」(金田 晋)

## ちゅーピーカルチャーセンター東広島大学

### (平成27年講座)

- (1) 「身近な食品のはてな？」(鈴木寛一)
- (2) 「地球環境異変に備える暮らし方」(安藤忠男)
- (3) 「無線のなぜなぜ-カラーテレビの色構成-」(井上宜邦)
- (4) 「ドレミの科学」(小方 厚)
- (5) 「集団と個人の影響力」(黒川正流)
- (6) 「磁場の科学-磁場の不思議な科学-」(谷本能文)
- (7) 「宇宙には始まりがあった-素粒子・ビッグバン-」(松田正典)
- (8) 「暮らしの中の香り」(平田敏文)
- (9) 「身近な繊維のはなし」(高田忠彦)
- (10) 「健康づくりとウォーキング-理論と実際-」(渡部和彦)
- (11) 「人間関係へのパワーアップ」(岩村 聡)

### (平成28年講座)

- (1) 「暮らしを支える“土”」(河野憲治)
- (2) 「生態系の成り立ちと未来」(池上 晋)
- (3) 「ヒトの一生：遺伝と環境」(角谷哲司)
- (4) 「国際政治と平和を考える」(岩田賢司)
- (5) 「生物多様性と環境」(山本義雄)
- (6) 「水産分野における国際協力」(中川平介)
- (7) 「トリスタンとイゾー物語」にみる愛(原野 昇)
- (8) 「ハワイへの広島移民」(山代宏道)
- (9) 「豊潮丸の乗船体験に基づいた海域実習と韓国寄港について」(郷 秋雄)
- (10) 「聖書」の中の男女の愛-トマス・アキナスによる幻の「雅歌注解」を中心に-(水田英実)
- (11) 「世界き裂発見の旅」(中佐啓治郎)
- (12) 「食品機能の科学」(太田安英)



## 創立10周年記念事業一企画・実行委員会

### 「創立10周年記念シンポジウム」企画・実行委員

金田 晋 渡部和彦 東広島市教育委員会

### 「創立10周年記念祝賀会」企画・実行委員

菅川健二 原野 昇 平田敏文 渡部和彦

### 「創立10周年記念誌」編集委員会委員

難波平人 原野 昇 平田敏文 渡部和彦

## 編集後記

広島大学マスターズ（HM）が創立10周年を迎えるにあたり、これを記念する諸事業が企画された。「10周年記念誌」の編纂もそのひとつで、これを担当する編集委員会が設けられた。第1回の編集委員会は平成27年11月に開催され、「HM創立の理念」、「創立当時の“思い”や“苦勞”」、「10年間の活動」などを記録する冊子を刊行することを決定した。

当初は、「たかだか10年間の記録であり、冊子体とするほどの原稿が集まるか」の不安もあったが、10年間にかかわった事業等の調査や関連する写真の収集などを始めると、膨大な資料となることがわかった。そこで、「記念誌」の内容を次の4部門に分けて編纂することとした。

- (1)「広島大学マスターズ創立10周年に寄せて」—HMがどのような状況で、どのような思いで創立されたのか、またその後の活動の苦勞話等を語るものとし、会員に執筆を依頼・募集する。
- (2)「事業別10年の歩み」—HMが企画した事業、講師派遣をした事業などの10年間の状況を事業ごとに記録するものとし、各事業担当の幹事に纏め（執筆）を依頼する。
- (3)「HM通信の記事から」—これまでに発行した通信の記事から、10年史として関連深いものを抜粋・転載する。
- (4)「資料編」—会則・趣意書、年表など記録として残しておきたい資料を掲載する。

皆様のご協力のおかげで、原稿収集、編集作業も順調に進行し、「広島大学マスターズ10年の歩み」として刊行することができました。この記念誌が、「広島大学マスターズ」の単なる記録としてだけでなく、今後の活動の一助となることを願っています。また、この記念誌を手にした多くの方々に、「広島大学マスターズ」の存在を知っていただければ幸いです。

最後になりましたが、HM創立10周年に当たり、ご祝辞をいただきました東広島市長 藏田義雄様および 広島大学長 越智光夫先生に心から感謝申し上げます。また、本誌の刊行にあたり、ご執筆、ご提言、ご援助をいただいた多くの皆様に感謝申し上げます。また、印刷・編集でご尽力いただいた総合広告社の森山正敏氏にも謝意を表します。

（編集委員長 平田敏文）

## 【広島大学マスターズ10年の歩み】

発行：広島大学マスターズ

サンスクエア東広島3F 広島大学サテライトオフィス内

(郵便物宛先) 〒739-8601 東広島市西条栄町8-29

東広島市市民協働センター内 広大マスターズメールボックス

(Eメール) [masters@hiroshima-u.ac.jp](mailto:masters@hiroshima-u.ac.jp)

(HP 会員版) <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

(HP 瓦版) <http://hirodamasters.web.fc2.com/index.html>

発行日：2017（平成29）年3月1日

印刷：(株)総合広告社 東広島支社

〒739-0041 東広島市西条町寺家4323

[不許複製]

表紙・デザインは難波平人会員によるものです。表紙・写真（広島大学マスターズ創立10周年記念シンポジウム）は増田洋二氏の撮影です。